



はいのたね



井上病院が表彰されました



2017年4月5日 福山東ロータリークラブより、
優良事業所として地域医療に貢献した実績を認められ、



井上病院が表彰されました。
この表彰に恥じぬよう、スタッフ一同
一丸となって、今後ますます努力をし、
地域医療に貢献し続けて参ります。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。



がんリハビリチーム

~早期の起床と体力低下の予防~

前回の報告の続編で、がんのリハビリについてお伝えします。
通常リハビリは、何らかの障害（例えば骨折等）をおこし、
機能を回復するために受けることが一般的ですが、がんの
リハビリには、“**予防的リハビリ**”といわれる分野があります。
これは、**がんと診断され、早い時期からリハビリが開始される**
もので、**手術や抗癌剤治療・放射線治療等が始まる前、あるいは**
実施された直後からリハビリを行います。そうすることで、
治療による**体力低下を予防し、早期の離床を目指します。**



例えば、手術の翌日からリハビリが始まります。「昨日手術したばかりなのに、もう起きて
いいの?」「大丈夫?」と心配される患者様や御家族がいらっしゃいます。しかし手術の翌日こそ、
合併症の予防のために起きて動くことが大切です。早期に離床が進むと体力低下を予防し、
入院期間も短縮することが可能となります。また反対に、治療が思うように進まない時でも、
リハビリが果たす役割はあります。私達は、医師・理学療法士・看護師で構成される「**がん
リハビリチーム**」をつくり、入院中の患者様とその御家族の要望を、十分に把握した上で、
週1回のカンファレンスを行い、今後の目標や計画内容を検討しています。

患者様や御家族の立場となって、少しでも自分らしく生きるためのサポートが出来るような
活動を行っています。



間質性肺炎 Q & A

(解答：高橋正彦医師)

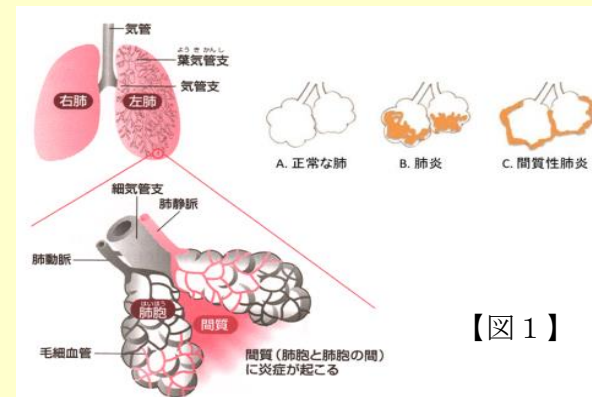


はじめに：間質性肺炎は、診療中によく遭遇しますが、一般的にはまだよく知られていない疾患の一つで、肺炎と混同されていることもしばしばあります。診療中によく質問されたことに基づいて、間質性肺炎についてQ & A形式で解説します。間質性肺炎について少しでもご理解いただければ幸いです。

Q 1：間質性肺炎と肺炎とはどう違うの？

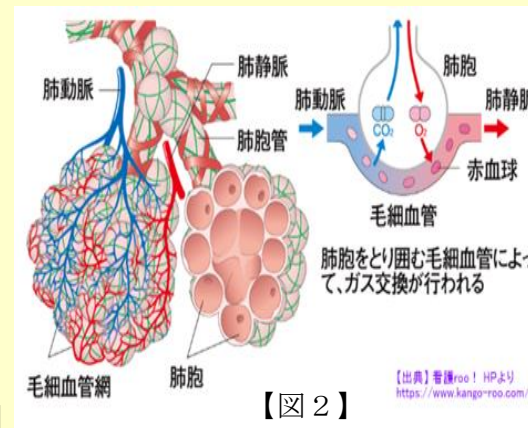
A 1：炎症が起きる場所が違います。

肺炎は肺泡（＝肺実質）の炎症であり、細菌やウイルスやマイコプラズマなどの微生物の感染や、食べ物や飲み物の誤嚥などにより起こります。間質性肺炎は肺の間質（肺泡と肺泡の間の組織）に起こる炎症です。【図1】



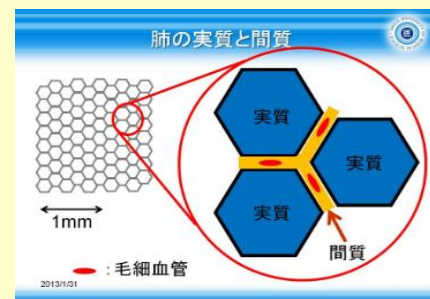
Q 2：肺泡ってなに？間質ってなに？

A 2：空気の通り道である気管支が肺の中で枝分かれしてだんだん細くなり、その先端に肺泡があります。肺はたくさんの肺泡でできています。肺泡は毛細血管に取り囲まれていて、肺泡壁を介して酸素を肺泡内から血管内に取り込み、二酸化炭素を血管内から肺泡内に排出しています。その肺泡と肺泡の間にある組織を間質と呼びます。また肺泡のことを肺実質という言い方もします。【図2】

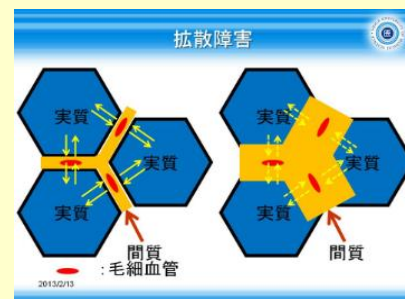


Q 3：間質に炎症が起きるとどうなるの？

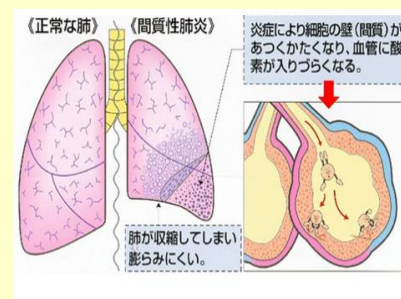
A 3：肺泡壁が厚く硬くなり、酸素や二酸化炭素が肺泡壁を通過しにくくなります。その状態を拡散障害と言います。その結果、息切れなどの症状が出ます。【図3、4、5】



【図3】



【図4】



【図5】

Q 4：間質性肺炎の原因は？

A 4：薬剤、放射線、粉塵の吸入、膠原病によるものなど、原因が明らかなものもありますが、原因不明の特発性間質性肺炎もたくさんあります。

Q 5：治療は？

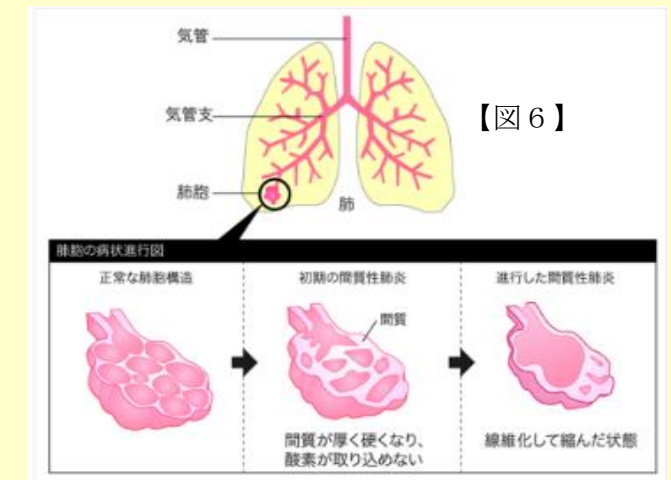
A 5：副腎皮質ステロイドや免疫抑制剤などの薬剤により線維化が進行しないようにします。また息切れや呼吸困難に対して呼吸リハビリテーションや必要に応じて酸素療法を行います。急激に症状が悪化する急性増悪時にはステロイド大量療法、酸素吸入、人工呼吸器などが必要な場合があります。

Q 6：線維化とはなに？

A 6：炎症が起きて、治っていく修復過程において肺泡壁は厚く硬くなります。それが線維化です。

肺が線維化した状態を肺線維症と呼びます。肺線維症の中には予後が非常に悪い特発性肺線維症も含まれています。

【図6】



Q 7：間質性肺炎、肺線維症は治るの？

A 7：いいえ、治る病気ではありません。徐々に進行します。時に急激に悪化する急性増悪となります。定期的に診察や検査を受け、継続した治療が必要です。

Q 8：いつ急性増悪するの？

A 8：風邪やインフルエンザや肺炎などの感染症、治療薬剤の減量、抗癌剤治療、放射線治療、手術や侵襲のある検査処置などが誘因となります。誘因がなく急性増悪するものもあります。

Q 9：間質性肺炎は肺癌と関係あるの？

A 9：はい、関係あります。間質性肺炎は肺癌の合併が10～20%とされています。

Q 10：間質性肺炎で気を付けることは？

A 10：定期的に診察や検査を行い、継続した治療を受けて下さい。また急性増悪を起こさないようにするために風邪やインフルエンザにかからないようにすること、罹ったときは早めの対処をすること、侵襲のある治療、検査、処置を受けるときは担当医とよく相談して慎重に行ってください。

おわりに：間質性肺炎についていっくらかご理解していただけましたでしょうか？何か気になることがありましたら外来受診して下さい。